

新型コロナワクチン特集号

当院では、5月9日から新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、6月22日で希望する高齢者への接種が終了し、7月18日からは一般への接種が始まりました。

今後、集団接種を3回実施し、8月22日をもって希望する全住民への接種が終了する予定です。

今回の「もっこない」は新型コロナワクチン特集号でお届けいたします。



ワクチンが用意されるまで

新型コロナワクチンの接種が当町でも順調に始まりました。今回はそのワクチンが皆さんの前に用意されるまでの物語です。

木古内町で使用しているワクチンはファイザー/ビオンテック社製のものです。最長6カ月のワクチンの保管期間を維持するためには、 $-90^{\circ}\text{C}\sim-60^{\circ}\text{C}$ での保管が求められています。

停電などの事態に備え、自家発電装置がある当院の超低温冷凍庫で保管しています。町内の他施設に対しては健康管理センター主導のもと、当院より小分けされ、供給しています。



ドライアイスに囲まれた
新型コロナウイルスワクチン

ワクチンは -75°C 前後が保てる特殊な箱により当院へ配送されます。1箱にワクチン195本（1970回分）が入っていますが、その容積をはるかに超えるドライアイスが詰まっており、1箱の重量は30kgにもなります。機械式の温度計できちんと監視されており、温度が $-90^{\circ}\text{C}\sim-60^{\circ}\text{C}$ を逸脱した場合、確認できるように運ばれてきます。特殊な箱のため、返却が義務付けされており、返却後、再びワクチンを配送するため全国を飛び回ります。

適切に管理、配送されたワクチンは、素早く超低温冷凍庫に移され、使用される時を待ちます。1本のワクチンの瓶（バイアル）には6回分（6人分）の量が詰まっています。当院では、接種される当日、薬剤師がワクチンや希釈用の生理食塩液、注射筒、針の数量を取り揃えて、温度や溶解してからの時間等を管理し、調整技術に優れた看護師の手により、てきぱきと注射器に充填されていきます。このワクチン用に作られた針は、非常に細く、熟練した看護師でも手をやく事があります。

このように、いろいろな過程を経て無事に調整されたワクチンは、接種会場の皆さんの前に届けられます。



第33号

もっこない

木古内町国民健康保険病院

病院理念

「保健・医療・福祉の連携により住民の幸せに貢献します」

診療予約については

01392-2-4895
(ヨヤクゴー)



所要時間はたったの25分

7月18日の一般接種から、1日で一人でも多くの方が、よりスムーズに接種できるよう体制を見直ししました。これまで、来院から帰宅まで長い方で30分以上かかっていましたが、いまでは平均25分で帰宅できるようになりました。時間がとれなく接種を見合わせている方がおりましたら、ぜひ接種を再検討ください。



入口で検温・受付



次の場所までご案内



体調などスタッフが聞き取りを行います。



接種会場の内科・整形・2Fへ移動



各接種場所（3か所設置）へ職員が優しくエスコート



医師の問診を受けワクチン接種



接種後15分間の健康観察を行います。体調に変化がなければ注意事項を聞き終了です。

※アナフィラキシーなどの副反応に備え、問診とは別に1名の医師を配置しています。

新人の紹介



訪問看護室/看護師
(国保病院勤務)

かるべ しおり
苅部 しおり さん

木古内町出身



放射線技師
(国保病院勤務)

いたい ゆうき
板井 裕基 さん

青森県出身

＜お問い合わせ先＞

木古内町国民健康保険病院

住所：木古内町字本町710番地

電話：01392-2-2079

FAX：01392-2-6025

次回発行は、令和3年11月1日を予定しています。